



粘質ほ場に1/500傾斜を付けて排水性を高める

粘質土(排水不良)のキャベツほ場に, レーザーレベラーを使用して1/500(0.2%)の緩やかな傾斜を付け地表排水を促すことで, キャベツの湿害を軽減し収量を増加できる技術を開発しました。

1/500傾斜とは? 長さ50mであれば10cmと緩やかな高低差

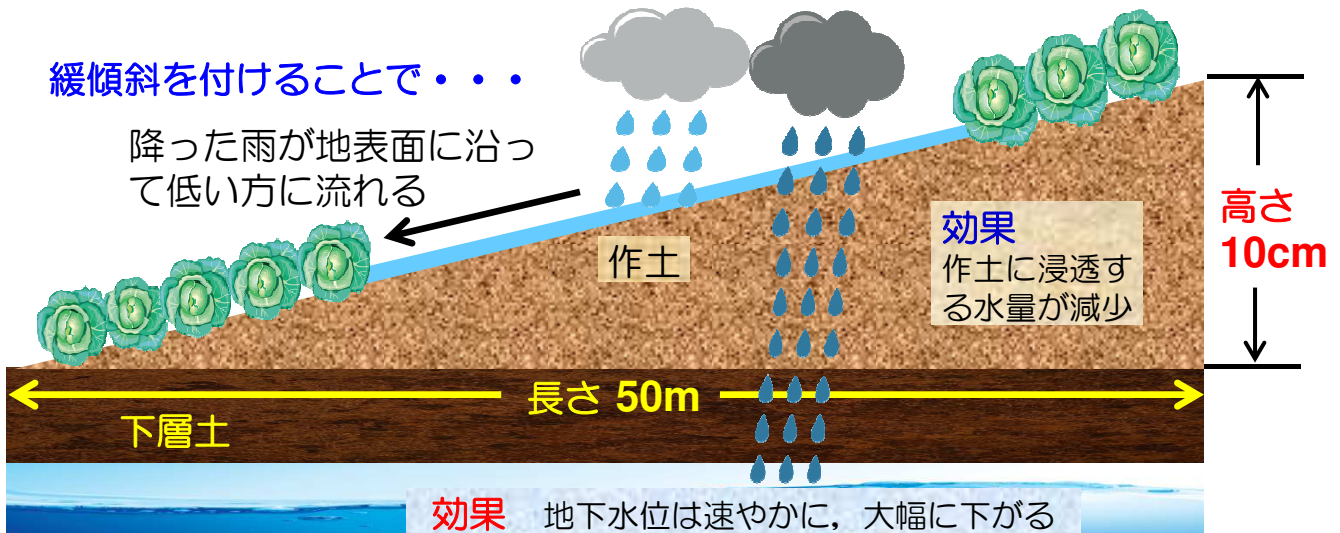


表1 春作キャベツの生育および収量(2016)

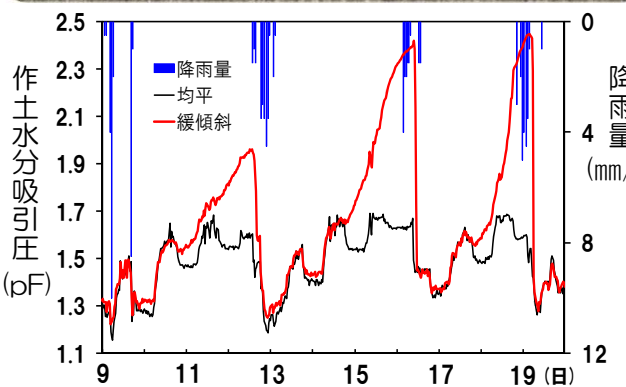
処理区	湿害株 (%)	調製重 (kg/株)	可販収量 (t/10a)
均 平	31.4	1.24 a (100)	3.41 (100)
緩傾斜	9.1	1.52 b (123)	5.54 (162)

品種：YR春空 栽培様式：平畝栽培 収量調査日：6月30日

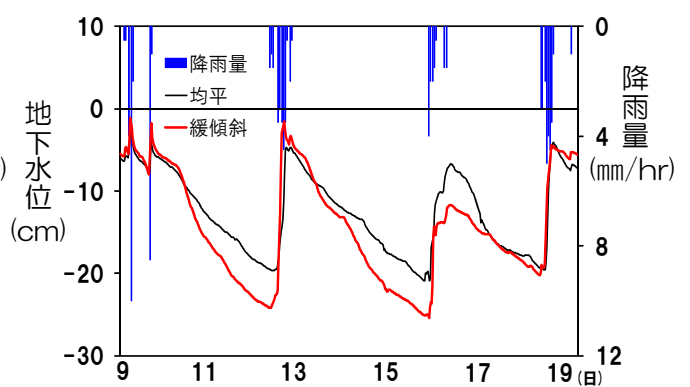
湿害株：外葉の萎れ、根腐れ等が認められたもの

調製重：t検定により、同一列の異なる符号間には5%で有意差あり

湿害軽減 → 収量増加



降雨中湿潤 → 降雨後適域まで回復



降雨中上昇 → 降雨後大幅に下降